

琉球の民間信仰

葬祭と祖先供養

拝詞事典

渡口初美著

墓の祭祀

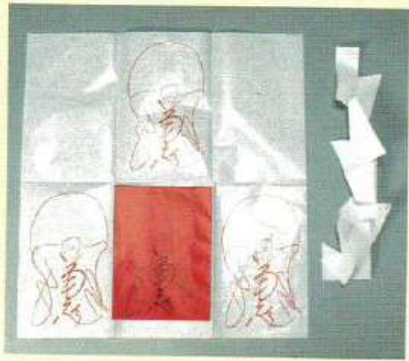
墓は、祖先の御霊を祀り、祖先崇拜の象徴として大きな意味をもっています。

昨今の社会環境の著しい変化、ことに都市化の進行に伴う土地事情、核家族の傾向を強める家族制度など「墓」をめぐる情勢にも大きな変化が見られます。

墓を建てたい、子孫に立派な墓を造って遺しておきたいなど、墓に対する需要はきわめて旺盛なようです。

しかし、墓造りは細心の注意を払って計画を立てなければなりません。

まず、経験者や易者で「判示」をとります。家族の相(干支)や土地相など総合的にみてもらい、吉凶を占ってもらいます。



ウティンジウモウシ



下段左から
 米俵(クミダーラ)
 昆布俵(クープダーラ)
 塩俵(マースダーラ)
 上段左から
 炭俵(スミダーラ)
 味噌俵(シースターラ)

※家庭によって多少の違いがあります。

墓の祝い料理

(その1)



葬儀と祭祀

沖縄では、民間信仰や仏教、キリスト教などがあり、葬儀のあり方にもいろいろな様式があるようです。首里、那覇、中部の都心ではほとんどの家庭が、葬儀専門の会社をお願いして、葬儀に必要な仏具や花輪、その他あいさつ状まですべて用意してもらっています。

また地方の場合は、ほとんど自宅で葬儀を出します。



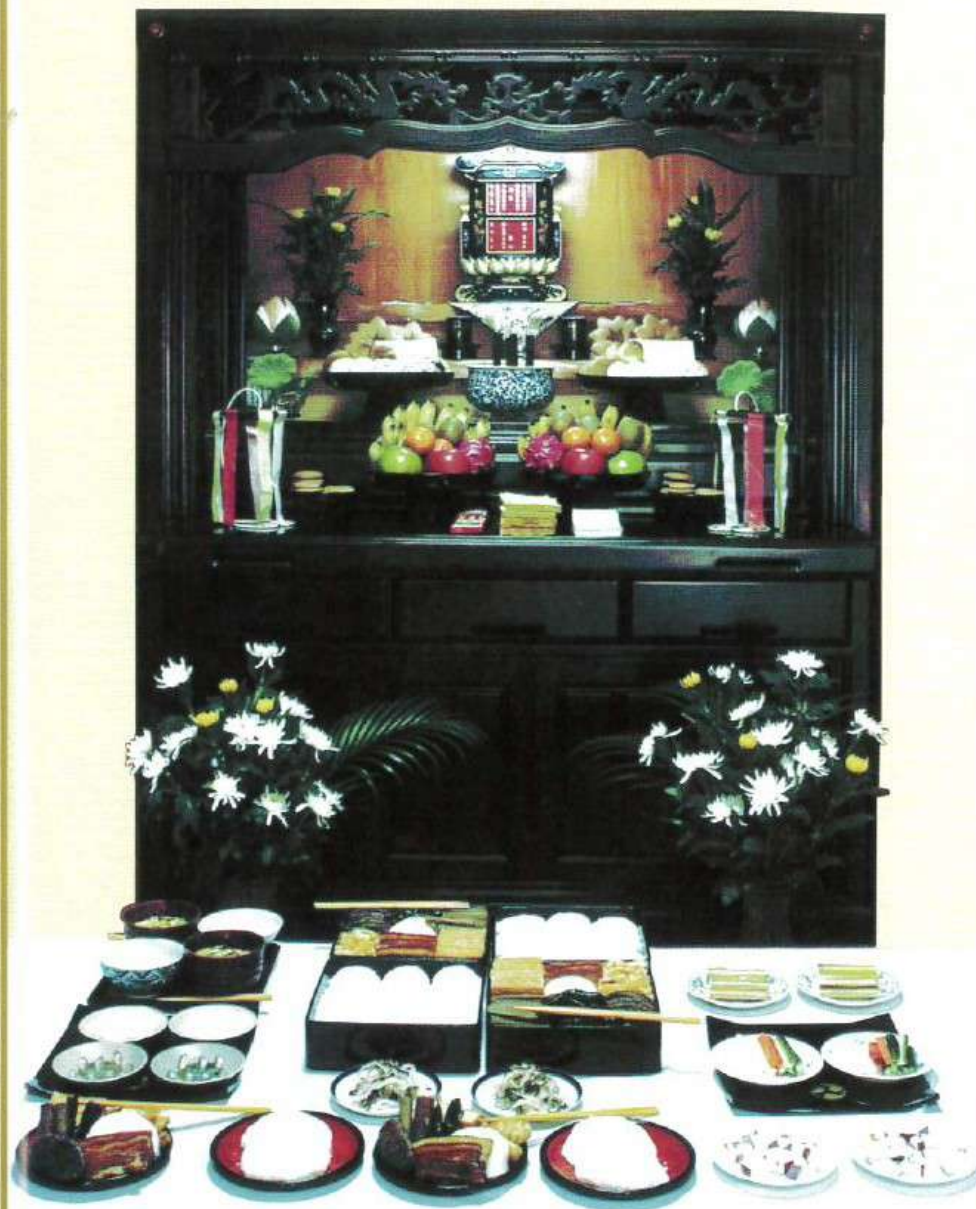
(墓の祝い料理 その三)



(墓の祝い料理 その四)

※地域によって多少の違いがあります。

十六日祭 (その1)



※家庭によって多少の違いがあります。

葬祭と祖先供養

拝詞事典

● もくじ

墓の祭祀
葬儀と祭祀
はじめに

喪中の年中行事

一月の行事	94	切り上げ法事	102
元日	95	法事は死者のためだけではない 自分たちの功德にもなる	103
御火の神様 喪中の供え方	96		
御火の神様の降臨	96		
新十六日	97	二月の行事	104
新十六日祭(方言拝詞)	100	彼岸祭	105

彼岸又拝ミ(方言拝詞)	107	七夕	127
屋敷の御願	110	お盆供養	127
屋敷又拝ミ(方言拝詞)	113	お盆の由来	128
三月の行事	116	お盆の準備	130
三月三日	117	位牌と香炉の御清拭	132
清明祭	117	御迎え	138
清明又拝ミ(方言拝詞)	120	御迎工(方言拝詞)	140
四月の行事	123	十三日の仏供膳	143
五月の行事	124	十四日の仏供膳	144
六月の行事	125	十五日(十六日)の精霊送り	146
七月の行事	126	御送イ(方言拝詞)	148
		水の子(ミンヌク)は 哀れなチガリムンの霊に施すもの	150
		新盆(ミーサ)の供養	151
		新盆(ミーサ)にはその死者だけの 接待料理(ワカシムン)	151

新盆又供養(方言拝詞)

153

十一月の行事

158

八月の行事

155

十二月の行事

159

九月の行事

156

喪中の御願解き

160

御願解子(方言拝詞)

161

年の夜

165

年終イ又拝ミ(方言拝詞)

166

十月の行事

157

葬儀と儀礼

焼香の作法

170

抹香の焚き方

170

臨終には立ち会わない

173

末期の水

174

招魂(ヌジファ)

175

病院での「招魂」(寝床又除下り)

176

仏壇への報告

178

臨終

172

末期の水は血縁の濃い肉親から

172

仏壇封じのいわれ

178

神棚は半紙で封じる

180

御火の神様のお隠れ

181

御火の神様の御除籍(ウユリ)

181

葬儀社への依頼

182

病室からの出発

183

ご遺体との対面

198

枕飾り

201

霊供膳

201

「枕飾り」の品々

202

仮香炉は「四十九日」まで

204

ローソク

205

枕ダーク

206

一膳飯(カタチヌメ)

206

一生に三度の高盛飯

208

豚二枚肉(シラベシ)

209

冥土への御支度(グソーヌウシタク)

184

病院での湯灌

184

自宅で行なう湯灌は家族だけです

185

湯灌の作法

186

死化粧は心をこめて

188

湯灌が済んで白足袋をはく

189

長寿者は「紅はちまき」に七重衣

190

七針は「七世又御渡り」

192

死出の旅支度は自分で用意する

193

通夜

- ◆ 通夜のふるまい(弔問客のもてなし)……………211
- ◆ 喪中の特別な行事……………212
- ◆ 別れの水盃……………213
- ◆ 後生への「おみやげ」……………215
- ◆ 妊婦の納棺……………216
- ◆ 死者が一年内に続いた場合……………216
- ◆ 入棺後の「抜魂」(ヌジファ)……………217
- ◆ 自宅からの出棺……………219
- ◆ 出棺のあいさつ……………223
- ◆ 白位牌は二つ用意します……………223
- ◆ 白位牌は位牌後継者が持つ……………224
- ◆ 葬式に使用する傘……………225
- ◆ 出棺後の留守宅……………226
- ◆ 火葬場への出発……………227
- ◆ 火葬場へ持参する品々……………228

後飾り(仮祭壇)

- ◆ 後飾り(仮祭壇)……………229
- ◆ 骨上げ、骨拾い……………230
- ◆ 骨壺に名前を記入する……………231
- ◆ 自宅葬の場合……………232
- ◆ 寺での告別式……………232
- ◆ 寺での告別式の順序……………233
- ◆ 墓口を開ける祈願……………234
- ◆ お墓の納骨……………237
- ◆ 墓での儀式……………239
- ◆ 納骨と「墓の戸止め」……………240
- ◆ 座敷の祓い清め(シヤシチバレ)……………241
- ◆ 翌日祭(ナーチャミ)……………243
- ◆ 冥界への道……………245
- ◆ 葬式後の主な法事……………245
- ◆ (法事祭祀年表)……………246
- ◆ 祥月命日は、家族そろって礼拝する……………247

「七ツ日」の焼香

「初ツ七日」

- ◆ 「左・御座仏」への前拝み……………249
- 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………252
- ◆ 仮祭壇の拝み……………254
- 仮祭壇又御願(方言拝詞)……………256
- ◆ 「初ツ七日」の冥界……………259

「二ツ七日」

- ◆ 「左・御座仏」への前拝み……………260
- 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………262
- ◆ 仮祭壇の拝み……………264
- 仮祭壇又御願(方言拝詞)……………266
- ◆ 「二ツ七日」の冥界……………269

「三ツ七日」

- ◆ 「左・御座仏」への前拝み……………270
- 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………272
- ◆ 仮祭壇の拝み……………274
- 仮祭壇又御願(方言拝詞)……………276
- ◆ 「三ツ七日」の冥界……………279

「四ツ七日」

- ◆ 「左・御座仏」への前拝み……………280
- 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………282
- ◆ 仮祭壇の拝み……………284
- 仮祭壇又御願(方言拝詞)……………286
- ◆ 「四ツ七日」の冥界……………289

「五ツ七日」

- ◆ 「左・御座仏」への前拝み……………290

左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………292

◆仮祭壇の拝み……………294

◆仮祭壇又御願(方言拝詞)……………296

◆「五ツ七日」の冥界……………299

◆「五ツ七日」の切り上げ御焼香……………300

「六ツ七日」……………302

◆「左・御座仏」への前拝み……………302

左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………304

◆仮祭壇の拝み……………306

◆仮祭壇又御願(方言拝詞)……………308

◆「六ツ七日」の冥界……………311

「四十九日」……………312

◆「左・御座仏」への前拝み……………313

左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………315

◆仮祭壇の拝み……………317

◆仮祭壇又御願(方言拝詞)……………319

◆「四十九日」の仏事……………322

◆「七ツ七日」の冥界……………324

◆骨餅は御魂の餅……………325

◆守護霊イ別離……………327

◆守護霊イ別離(方言拝詞)……………332

◆屋敷の祓い清め……………334

◆「守護霊」焼香(ワタクシスーコー)……………334

忌日と法事……………336

◆葬式と同時に……………336

「四十九日」の御焼香を執り行う……………337

◆忌明け……………338

◆「四十九日」の仏事まで
死者の日用品を飾る……………339

◆墓の戸止め……………339

◆墓又戸止ミニ又祈願(方言拝詞)……………342

◆「御火の神様」の御昇華(ウユリ)……………345

御火又神様御昇華祈願(方言拝詞)……………346

◆形見分け……………350

◆新後生(ミーサ)の伝言(口寄せ)……………351

◆月命日……………352

「百カ日」……………353

◆左・御役場への前拝み……………353

左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………355

「百カ日」又御願(方言拝詞)……………359

◆「百カ日」の法事……………362

◆「百カ日」まで霊供膳を供える……………362

若焼香……………363

若焼香 一年忌の法事(満一年目の命日)……………364

◆「左・御座仏」への前拝み……………364

左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………366

一年忌又祈願(方言拝詞)……………370

◆年忌法事の営み方……………373

生前に功德を積み
遺族の追善供養もいらない……………374

◆一年に一度の「祥月命日」とは……………375

◆生まれ国元から「抜魂」(ヌジファ)……………376

法事を延ばす祈願……………378

法事を延ばす祈願(方言拝詞)……………379

若焼香 三年忌の法事(満二年目の命日) 382

 □「左・御座仏」への前拝み……………382

 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………384

 三年忌又祈願(方言拝詞)……………388

七年忌の法事(満六年目の命日)……………391

 □「左・御座仏」への前拝み……………391

 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………393

 七年忌又祈願(方言拝詞)……………397

十三年忌の法事(満十二年目の命日)……………400

 □「左・御座仏」への前拝み……………400

 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………402

 十三年忌又祈願(方言拝詞)……………406

 □年忌法事は「かぞえ年」で数える……………409

 □「年忌法事」が二つ重なった場合……………410

 □骨を合葬する……………439

 □三十二年忌の「戸止ミヌ焼香」……………440

位牌祭祀

位牌祭祀……………442

 □御香炉は大きく 位牌は小さく……………442

 □位牌(トートーメー)の建立……………443

 □位牌の形態……………445

 □仏壇を求める時間……………446

 □「預かり元祖」「下り仏壇」の祀り方……………447

 □位牌の鎮魂(預かり位牌をお迎えてして……………449

 相統者の家庭での鎮魂)……………449

 預かり位牌をお迎えてして……………451

 相統者の家庭での鎮魂(方言拝詞)……………451

 □「十三年忌」の法事……………410

大焼香 二十五年忌の法事……………411

 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………414

 二十五年忌又祈願(方言拝詞)……………418

大焼香 三十三年忌の法事……………422

 左・御座仏への前拝み(方言拝詞)……………425

 終御焼香又祈願(方言拝詞)……………430

 □三十三年忌の法事は……………434

 追善供養のしめくくり……………434

 □靈魂を昇天させる場所……………435

 □位牌の処遇方法……………435

 □御祝儀袋は子孫繁栄の証……………436

 □永代供養……………437

 □嫡子押込み(チャツチウシクミ)……………454

 □嫡子押込みの祈願……………456

 嫡子押込みミヌ嘆願(方言拝詞)……………457

 □七歳未満は位牌をつくらない……………459

 □幼少押込み……………460

 □長男が「位牌継承しない場合」……………461

 □養子は次男、三男が選ばれる……………462

 □養子は新規に位牌を建立する……………463

 □他系混合(タチーマジクイ)……………464

 □女人位牌(女元祖・女開祖)……………465

◆ 筋正し……………	466
◆ 血統因縁(チヂウリ) (祖先のかかわり因縁)……………	468
血統因縁又喚願(方言拝詞)……………	471
水子の霊……………	474

墓の祭祀

◆ 「お墓」は門中の長老たちと相談する……………	493
◆ 「墓」……………	494
◆ 「墓」の建立(ティンダテイ)……………	495
◆ 「墓」の完成(開眼供養)……………	496
◆ 「墓」の入魂儀礼……………	499
墓の入魂祈願(祝建墓)(方言拝詞)……………	500
◆ 「墓」の戸止め……………	505

◆ 「水子」の供養……………	474
水子の霊供養 成就祈願(方言拝詞)……………	476
苦揺解き(クヨウブドウチ)……………	480
潮河渡り(スーカーワタイ)……………	482
潮河渡り成就祈願(方言拝詞)……………	488

◆ 「墓」の落成および年忌の供物……………	507
◆ 墓の施主者は一足先に帰る……………	508
◆ 「墓の戸止め」の御願が終わって 墓庭での祝宴に料理を奉納する……………	509
◆ 墓の誕生祝……………	511
◆ 墓の年忌祈願……………	512
◆ 一年目の墓の祝い(タンカーウユエ)……………	513

墓の年忌祈願(方言拝詞)……………	516
◆ 墓の祈願(誕生祝い)を延ばす場合……………	518
墓又祈願 延期又祈願(方言拝詞)……………	519
◆ 門中墓からの分骨と順位……………	521
◆ 無縁墓の払い浄めの祈願……………	522
墓又抜魂(方言拝詞)……………	523
◆ 墓堂での上座と下座……………	528
◆ 空墓は「祝い事は中止」……………	530
◆ 「新墓」に子供は納骨しない……………	531

◆ 「墓堂」での正妻の座は守られる……………	532
◆ 「先妻、後妻」がいる場合……………	533
◆ 本墓に入れない死者は仮墓に葬る……………	535
◆ 側宿(スバヤド)でも本墓(祖霊)への 領地代の奉納をする……………	537
◆ 夫に妻二人あって、 分骨する場合……………	538
◆ 門中墓・個人墓との場合……………	539
◆ 親族で墓をつくる場合……………	539

祭祀儀礼のきまり(こと)

◆ 門中行事の世話役(ムイメー)……………	542
◆ ビンシーと仮のビンシー……………	544
◆ 線香……………	546
◆ 線香のあげ方……………	547

◆ 拝詞 <small>グイス</small> を唱えるときの心得……………	554
◆ 数珠(念珠)……………	555
◆ 法事料理……………	558

◆ 法事の重詰料理	559
◆ 重詰めの方法	560
◆ 法事の接待料理	562

葬式に必要な手続	563
◆ 自宅で死亡した場合	563
◆ 病院で死亡した場合	564
◆ 事故死、変死、自殺などの場合	565
◆ 伝染病で死亡した場合	566
◆ 死亡の際の法的手続	566
◆ 届出期間	567
◆ 届出場所	567
◆ 届出用紙	568
◆ 届出義務者	568
◆ 過去帳は自分と祖先を結ぶ	569

資料編	573
-----	-----

◆ 御火の神様への供え	574
◆ ビンシーと仮ピンシー	576
◆ 枕飾り	578

極楽めぐり 地獄めぐり	581
-------------	-----

喪中の年中行事

家族に死者が出たら、喪中として、「忌明け」する。四十九日〃百カ日〃まで(昔は三年忌まで)、死者のため、冥福をお祈りします。その期間は、すべての祝祭、行事ことは執り行いません。「忌明け」後、日常の生活に戻ります。

新十六日祭

方言
拜詞

※礼拝所(お墓、お墓の左・御座仏(右側)に向かって)



「サリ・ウートートウ」

御座入りヤビテイ：今年又年又明キヤビテイ：○○家庭産元又：○○干支
所帯主カラ：○○干支：○○(名前)又：新十六日又：御願立デービル

「サリ・ウートートウ」

十段又御座入り：百段又御座入り：萬段又御座入り：申上テイ
祖先巻金：石造巻金：風水巻金：左・御役場：後生・七役場
地神庚申：阿弥陀加那志：十三仏様又御前二：陸地又 珍珠
竜宮 又 珍珠：七品又御三味御重：紙銭納金：献供ヤビテイ

二十四香：三十六本・九本・七本又：香分又御輝り 灯明ヤビテイ
○○干支：○○(名前)又：新十六日又御願立デービル
神親祖先加那志又：御座元ウテイ：御鎮座ヂュラサ：祈願ソーリ



和 訳

今日は新しい年の旧暦一月十六日でございます。○○年生まれの○○干支の(名前)がこの世を去りまして、初めて迎える旧暦の一月十六日でございます。海の幸、山の幸をお供えし、一族が揃ってご供養申し上げます。現世で起きた幾多の困難、苦悩も解脱され、これからもご祖先様のお座元で修行をし、安らかに成仏なさいますよう祈願いたします。

※「方言拜詞」にこだわらず、自分の意思を「言葉」にして祈願し、神仏に感謝することです。